

## 外國宣傳情報第一號

昭一六・五・一二 情報局

本資料は外國發信局發信内容を其體採録しあり、重慶又は第三國筋の宣傳の意圖による作爲的なる報道も少からざるべきを以て取扱には特に注意を要す

## ◎郭泰祺の米首腦との會談

郭泰祺の米首腦との會談に關しては重慶側より出する放送は右會談の結果米國の對重慶援助増大を確認し得たりと宣傳しあり、主なる内容次の如し

## △成都（中央通信）四月三十日國際放送

ワシントン發「郭泰祺はアメリカ政府の三巨頭即ちルーズベルト大統領、ウォレス副大統領、ハル國務長官を訪問した。ワシントンを通過する外國の外交官がこのやうに僥

が一日で多くの首脳者を訪問したことは珍しいことである。彼は訪問の際に胡適大使を

同伴して居た、彼はハル長官を訪問して二十五分間會談し國際情勢につき語り合つた。

彼はハル長官訪問後直ちに官邸にルーズベルト大統領を訪問し橢圓形の事務室で十五分間會見した。彼は會見を終つて後起者間に就して大統領訪問の結果「非常な激励を受けアメリカの援助が増大しつつあることを確認した」と語りル大統領は世界的な指導者として一手腕先見の明をもつて居る人でてゐるこ褒めた、大統領官邸での共同會見の際に郭泰祺が非常な激励を受けたと語つたことに對して説明を求められたのに對して大統領は笑ひながら「余も亦激励された」こ應へた、郭泰祺は胡適大使主催の晩餐會に招待された尙他の招客の中には藏相ヘンリー・モーゲンソーカー夫妻、陸相ヘンリー・スチムソン夫妻、宋子文夫妻、スタンレイ・ホーンベック夫妻、上院議員アルペン・バークレイ夫妻等が居た。

△上海大美晚報電五月一日北京語放送

（ワシントン三十日發L.P.電）前駐米中國大使郭泰祺博士は昨日ル大統領及びハル國務長官と會談後「中米合作の前途に興奮を感じ、米國が多量の物資を既に中國へ援助の爲送出せることを余は耳にし米大統領の援英問題と共に甚しき關心を抱きたり」と述べたり。

△同前

（ワシントン三十日發L.P.電）前駐米中國大使郭泰祺博士は昨日ル大統領及びハル國務長官と會談後「中米合作の前途に興奮を感じ、米國が多量の物資を既に中國へ援助の爲送出せることを余は耳にし米大統領の援英問題と共に甚しき關心を抱きたり」と述べたり。

△同前

ルーズベルト大統領は昨日プレスコンферансの席上「余は前駐英支大使郭泰祺との會談に依り中米合作の前途は更に力強さを加ふるに至るべし」と發表せるが郭氏との會談内容に關しては一切の發表を拒絕せり。

△同前

（ワシントン二十八日發特電）ルーズベルト大統領の側近者たる前駐佛米大使フレッド氏は昨夜全國民衆に向け放送「全國人民は一切の資源を以て中國を援助すべきにして更に證せり」と發表せり。

（ワシントン二十八日發特電）ルーズベルト大統領の側近者たる前駐佛米大使フレッド氏は昨夜全國民衆に向け放送「全國人民は一切の資源を以て中國を援助すべきにして更に

必要な軍需品を中國に交付すべき旨の保證を與ふべきなり」と強調せり

◎米大統領長子ジエームス・ルーズベルト大佐の重慶訪問

小ルーズベルトの重慶訪問に關する重慶側放送は同大佐の携へ來たつた蔣委員長に對する  
ル大統領の親書により、並に同大佐の重慶、成都等の實情視察の結果米支間諒解は一層緊密  
化し得たりと宣傳しあり、主なる内容次の如し。

△中國國際電臺四月三十日北京語放送

ルーズベルト米大統領の長男ジエームス氏及びトーマス少佐は二十九日午前八時香港より空路重慶に到着せり、同氏は「ルーズベルト大統領は余をして諸君と會談する様求めたり」と語り飛行場休憩室に於て記者と會見次の如く回答せり

問 貴下はルーズベルト大統領の蔣委員長に宛てたる書翰を携帶せられたるや、蔣夫人宛のルーズベルト夫人の書翰を携帶せられたるや。

答 蔣委員長宛の書簡及び傳言あるも大統領夫人に書翰を出せり。

問 今次の來支任務如何

答 余個人として軍事及び交通に對し甚しく興味を感じたり、今次の來支は軍事方面を観察し之を學ばんとするにあり巷間に傳ふるが如き使命を絶対に有しらず。

問 貴下は米國を出發するに先立ち米大統領秘書カリー博士と極東状勢につき會談されたるや。

答 余は米國出發の前カリー博士と會談せるが未だ米大統領に呈出せる訪支報告書を續了せず。

問 最近米國紙は大々的に中國の報道を掲載せるや。

答 然り。殆んど毎日掲載せり。

問 目下米人の動向如何。

答 ワシントンの一般情勢は多忙化し各種の工作時間は何れも増加すると共に毎日緊張裡に工作を行ひあり、罷業の如きは今や全く平靜化せり、国防工作は順調に進歩中なり。

問 貴下は本日途中に於て日機と遭遇されたるや。

答 途中美しい雲と平安なる飛行を楽しみたる外何等云ふ事なし。

ルーズベルト氏は記者と會見後行政院に赴き孔副院長と會見、正午ジョンソン大使と午餐と共にせり、而して午后何應欽軍政部長王寵惠外交部長及び徐永昌外交部次長等と會談。五時蔣委員長に謁見せり、同氏は重慶に五日間滞在すべく四月三十日成都に赴き同日重慶に歸

遷すべし、重慶より同氏は空路ラングーンに赴き次いで埃及に赴くものの如く状勢變らざればアビシニアに赴くべし。

△成都（中央通信）四月三十日國際放送

チエイムス・ルーズヴェルト大佐は本日午前六時に成都へ向つた、彼は同地で四川省主席張群を訪問し、諸施設を視察する筈である。午后五時に重慶へ歸り、外交部長王寵惠主席の晩餐會に出席することになつてゐる。明晚は蔣介石總統がルーズヴェルト大佐を晩餐會に招待する豫定であるといはれる。

△四川（中央通信）五月四日

米大統領公子ジエムス氏は成都重慶に於ける觀光を終へて本朝十時半トーマス少佐同道中國航空機でラングーン經由埃及に向つた。中央社記者は飛行場でジエムス氏に訪華の印象を訊ねたが同氏は次の如く語つた。

貴國人士は米國が出來得る丈の凡ゆる體力に對し已に正確なる認識を有して居り之は余が此度の前蘇中に受けた最も深刻なる印象である、余は此度の訪問は中米兩方とも遠大なる利益があると信ずる。

ジエムス氏は更に極めて快活なる語調で語つた。

余は蔣委員長及蔣夫人に衷心より崇拜して居る世界に克く勇敢奮闘し不屈不撓の精神を有

する民族は有るが偉大なる領袖に缺けて居る此意味に於て余は中國が今日の如き世界の偉大なる領袖蔣委員長及蔣夫人を戴くことを深く同慶に思つて居る、蔣委員長はル大統領の個人書翰を余に托したが、大使の歸國が早いから他に蔣委員長の書翰を托した、尙余が當地に於ける行動の一切は已に電報でル大統領及ノックス海軍長官に報告した。

内閣  
總理大臣

外國宣傳情報 第二號

昭一六・五・一三情報局

本資料は外國發信局發信內容を其儘採錄しあり、重慶又は第三國筋の宣傳の意圖による作爲的なる報道も少なからざるべきを以て取扱には特に注意を要す

◎ 総理が米英蘇聯諸國政府に對する態度の感想

日本の外交政策に關する極度の放送は、日本は對米關係を極度に恐れ、或る方面では松岡波米が實現せば太平洋安定に有利な獲得を爲し得べし、この波米密通の意向も行はれなり日本不可抗の交渉も進めており、また事態によつては三國同盟の解消或は米側側に立つ可能性もありとする如き宣傳をなしあり。

△ 重慶（中華總理）四月一日